



不登校対応研修講座

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

【本研修の目的】 不登校の現状を理解し、児童生徒の発達段階に応じた各学校の対応力向上を図る。
【受講者数と内訳】 99人（小学校：33人，中学校：47人，高等学校：8人，特別支援学校：11人）

第2日を実施しました！

- 講義・演習「不登校児童生徒の理解と支援」
- 実践発表「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携協力」



藤崎 育子先生



袴塚 景子先生



福島 恵美先生

11月26日（火）に、不登校対応研修講座の第2日が行われました。

午前には、不登校対応の第一人者である開善塾教育相談研究所所長の藤崎育子先生、茨城県で活躍されているスクールカウンセラー（SC）の袴塚景子先生、笠間市教育委員会に所属されているスクールソーシャルワーカー（SSW）の福島恵美先生の3人の先生方をお招きし、事例を基にした不登校児童生徒への具体的な関わり方や支援の在り方について、お話しいただきました。

受講された先生方からは、『子どもとつながること』、『真に寄り添うこと』について考えさせられました。や「具体的な話が聞けたことでSCやSSWと連携する際のイメージが広がりました。」などの感想が聞かれ、今後の不登校児童生徒への支援に対する示唆を得ることができたようです。

- 講義「不登校児童生徒に対する効果的な支援」

- 研究協議「不登校に対する学校の取組」

午後は、不登校児童生徒の支援に生かせる「児童生徒理解・教育支援シート」の具体的な作成の仕方について、作成の時期や留意点等を踏まえながらお伝えしました。

その後、学校種や校内での役割ごとに分かれて、これまで自校で進めてきた不登校児童生徒への支援について振り返る研究協議を実施しました。これまでうまくいった手立てや、改善が必要な手立てを吟味したことで、今後の支援への見通しや意欲をもつことができたようです。



今年度の不登校対応研修講座の全日程が終了しました。茨城県内においても、不登校児童生徒数は年々増えています。この二日間の研修が、受講者の先生方にとって意義があり、自分たちが関わる不登校児童生徒への支援に役立つものとなればと願っています。